

いくつか知っている？ 助け合うためのマーク



1

ヒント
ちゆうしゃじよう
駐車場やトイレな
どで見かけるね



2

ヒント
あしもと さく
ついで足元を探ってい
る様子を表しているよ



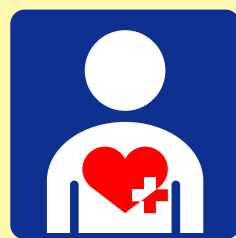
3

ヒント
ペットとはちがうよ



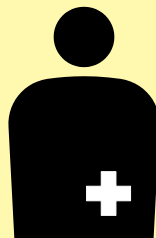
4

ヒント
からだ ぶぶん
体のある部分を
かたどっているよ



5

ヒント
からだ なか しるし
体の中に印
があるね



6

ヒント
トイレなどで
み
見かけるね



7

ヒント
かばんやつえにこの
マークをつけるよ

知っておこう

マークの答え

1 障害者のための国際シンボルマーク

しょうがい ひと りよう たてもの のもの
障害のある人が利用しやすい建物や乗り物であるこ
とを表しています。
くるま ひと しょうがい すべ ひと たいしやう
※車いすの人だけでなく障害のある全ての人を対象としています。

2 視覚障害者のための国際シンボルマーク

み ひと み ひと あんぜん かんが
見えない人、見えにくい人の安全を考えていること
を表しています。

3 ほじょ犬マーク

ほじょ犬の啓発のマークです。

4 耳マーク

き ひと き 聞こえない人、聞こえにくいことを表すと同時にその
かた おも たいやう かわ 方に思いやりをもって対応することを表しています。

5 ハート・プラスマーク

からだ なか しょうがい かわ
体の中に障害があることを表しています。

6 オストメイトマーク

じんこう じんこう たいやう
人工こう門・人工ぼうこうに対応したトイレであるこ
とを表しています。

7 ヘルプマーク

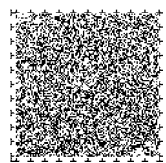
み め てだす き ひつやう
見た目ではわからなくても手助けや気づかいを必要
としていることを表しています。

障害のある人もない人も 共に安心して豊かに暮らせる 高知県をめざして

～いっしょにまな けんじやうれい
学ぼう、県条例～



しょうがくせいむ
小学生向け



「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律について」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sabetukaisho/>



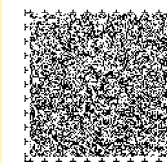
企画制作：高知県 子ども・福祉政策部 障害福祉課

発行：令和7年3月



こうちけん
高知県

この冊子には、音声コード（Uni-Voice）が各ページ（奇数ページ右
下、偶数ページ左下）に印刷されています。Uni-Voice アプリを使用し
て読み取ると、記録されている情報を音声で聞くことができます。



条例がめざすのは、 だれもが暮らしやすい高知県

私たちの高知県には、いろいろな人が暮らしています。

その全ての人が、障害のある人となない人によって区別されることなく、生まれながらにして持っている人権を尊重され、おたがいに個性を認め合いながら、共に安心して豊かに暮らしていくことのできるまち——そんな高知をめざして、条例が定められました。



条例の名前

「障害のある人もない人も共に安心して
豊かに暮らせる高知県づくり条例」

条例の大切な考え方

3

全ての障害のある人が、
自分に合ったコミュニケーションの方法（手話、点字、音声読み上げ、わかりやすい言葉づかいなど）を選ぶようにします。

1

全ての障害のある人が、
いつでも、いくつになっても、
社会のいろいろな活動に参加できるようにします。

2

全ての障害のある人が、
地域の中でみんなと共に
暮らせるようにします。

4

障害のある人に対する差別
や暮らしの中にあるバリア
は、社会全体で解決してい
かなければならない問題で
す。そのことを知り、障害
についての理解を深めます。

5

全ての障害のある人が、
障害のあることだけでな
く、ほかのいろいろな理由
によって特に困ったりする
ことのないよう、心くばり
をします。

条例で定められたこと

	(1) 不当な差別的取り扱い	(2) 合理的配慮の提供
役所・役場	禁止 (してはいけません)	義務 (しなければいけません)
会社やお店など		理解し協力することが努力義務 (するように努力しましょう)
県民一人ひとり		

(1) 不当な差別的取り扱いの禁止とは？

障害があるという理由だけでお店やサービスを利用することを断ったり、障害のない人には付けない条件をつけたりすることは、差別になるのでしてはいけません。また、相手にいやな思いをさせるような態度も差別になります。



障害があるからといってクラブなどへの参加を断るなど。



障害のある人をじっと見るなど。

(2) 合理的配慮の提供とは？

障害のある人が、障害のない人と同じように行きたいところに行き、やりたいことができるように、その人の障害に合わせた工夫や心くばりをするを「合理的配慮」といいます。

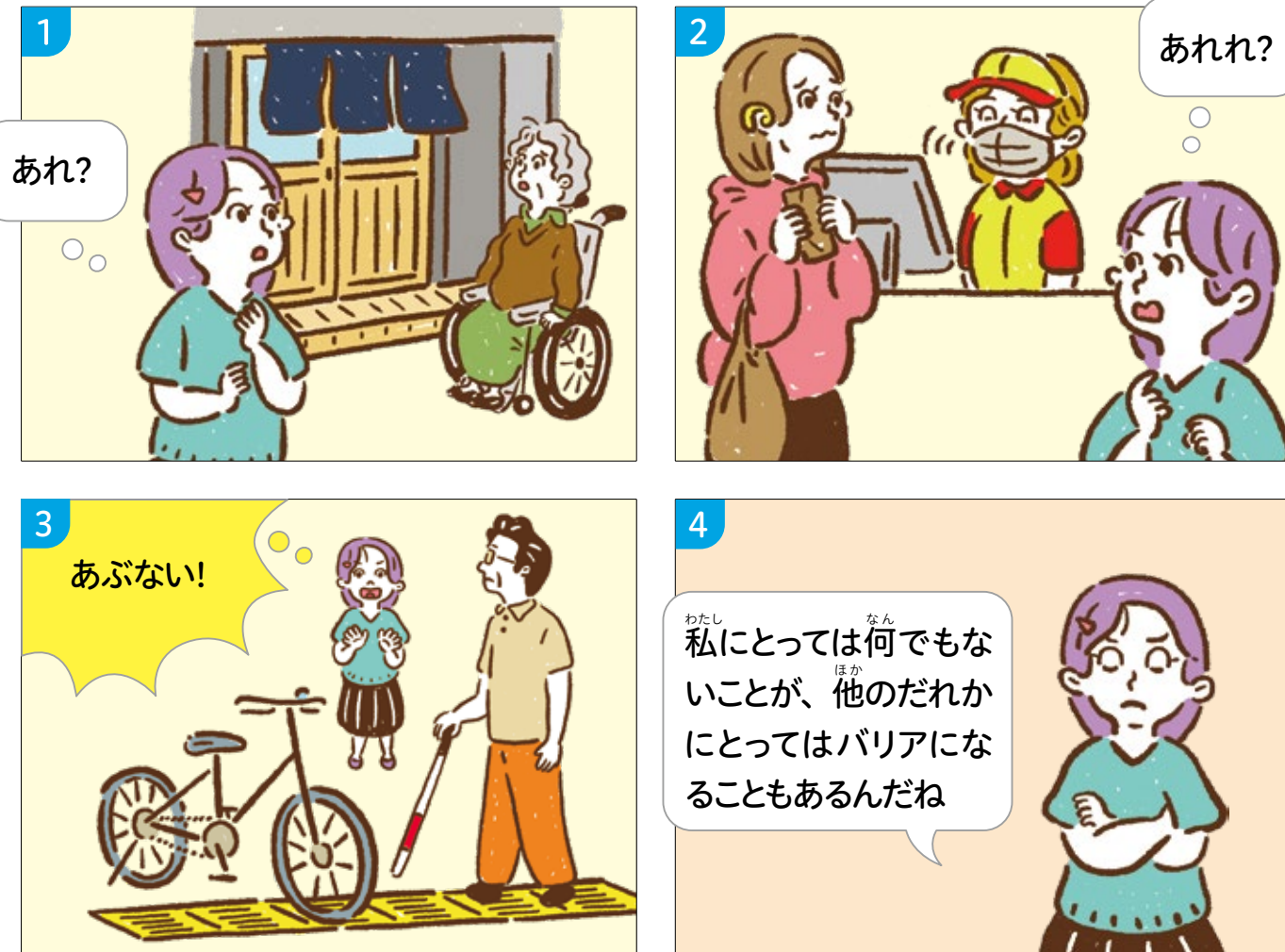


通路に物を置かないなど。



音声で伝える代わりに文字で書くなど。

障害のある人の困りごと ——“バリア”って何だろう？

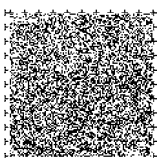


考えよう バリアは人によってちがう

障害のある人が何かをしやうとするとき、それをできにくくするものやルールのことを、バリアといいます。何がバリアになるのかは、障害によって、また人によってさまざまです。

解説

- 1 車いすでは、階段や急な坂、じやり道などは通ることが難しいよ。
- 2 聞こえない人、聞こえない人は、相手の口の動きも見ているよ。マスクを外した方が伝わりやすいよ。
- 3 見えない人、見えにくい人にとって、点字ブロックは大切な道案内の印だよ。物を置いてふさいだりしないでね。



バリアは、だれが解決するの？

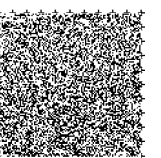


考えよう バリアは、社会全体でなくしていくもの

私たちの社会には、障害のない人に合わせて作られた建物やルールがたくさんあります。障害のある人にとってのバリアは、そういった社会のしくみが生み出したものです。だからこそ、みんなで協力して社会全体でバリアをなくしていくことが大切です。

解説

- 1 階段だけだと車いすの人は上がれないね。
- 2 セルフレジを便利だなと感じる人もいれば、困ったなど感じる人もいます。
- 3 伝える方法は、音声だけでなく、字幕などもあるよね。



見えない人、見えにくい人（視覚障害）

視力（どれくらいはっきり見えるか）、視野（見える範囲）に障害があります。白いつえを使っている人、盲導犬を連れている人もいます。

困っていること／協力できることの例

- 盲導犬といっしょだと、入店を断られます。
- 盲導犬はペットとはちがいます。断ることはできません。
- 「あちら」「こちら」などの声かけでは方向がわかりません。
- 時計の針が指す方向などで案内しましょう（10時の方向など）。



いろいろな障害について 知ることから始めよう

手や足が不自由な人、

自分で体を起こせない人（肢体不自由）

手や足などの体の一部または全部に障害があり、日常生活を送る上で多くの不便があります。車いすやつえを使っている人もいます。

困っていること／協力できることの例

- 車いすで通行する時は、広いスペースが必要です。
- 通路に物を置かないようにしましょう。
- 体温調節ができない人もいます。
- エアコンの温度調整などに協力しましょう。



聞こえない人、聞こえにくい人（聴覚障害）

聞こえない人と、聞こえにくい人がいます。補聴器や人工内耳などを使っている人もいます。

困っていること／協力できることの例

- 音によって周りの様子を知ることができません。
- メモやスマートフォンを使って、様子を伝えましょう。
- 補聴器などを使っても、聞き取れないことがあります。
- 口の動きや表情がわかるよう、顔を見ながらゆっくり話しましょう。



うまく伝えることが苦手な人、

物事をゆっくり理解する人

（知的障害・発達障害）

読む、書く、計算する、考えるなどの機能の発達におくれがあります。自分の考えや気持ちを伝えることが苦手な人もいます。

困っていること／協力できることの例

- 一度にたくさんのことを聞くと、混乱します。
- 短くわかりやすい言葉で、ゆっくり、くり返し説明しましょう。
- 予定にないことが起こると、どうしていいかわからなくなる場合があります。
- 何に困っているのか優しく声をかけて聞いてみましょう。



その他の障害

精神の病気で不調になった人（精神障害）、

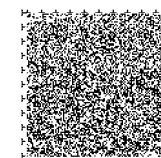
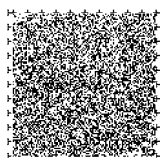
体の中に障害のある人（内部障害）、難病の人、

重い障害が重なっている人（重症心身障害）など

見た目ではわかりにくい障害や、生活のほとんどにおいて手助けを必要とする障害もあります。

困っていること／協力できることの例

- 周りの人から理解されにくいことがあります。
- ヘルプマークを付けている人が困っていたら、声をかけましょう。



大切なのは、 おたがいによく話し合うこと

バリアをなくしていくためには、障害のある人がどういう心くばりをしてほしいのか、お店などはどういう工夫ができるのか、おたがいによく話し合うことが大切です。これを「建設的対話」といいます。

！
申出
もうしで

障害のある人

対話
たいわ

お店の人

合意
ごうい

ランチを食べに来たのですが、入口の段差を一人ではこえられません。他に段差のない入口はありませんか？

店の裏口なら段差はないけれど、通路の幅がちょっとせまいな・・・

お店の裏口に段差のない入口がありますが、通路の幅がせまいので、車いすが通れるかどうかわかりません

そうですか。では、この段差をこえるのを手伝ってもらえますか？

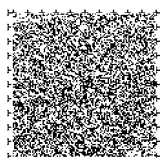
わかりました。今お手伝いできるスタッフは私だけです。一人でもだいじょうぶでしょうか？

だいじょうぶです。車いすの後ろのバーをふんで、前のタイヤを上げるお手伝いをお願いします

かんがえよう

建設的対話で、いっしょに解決方法を考える

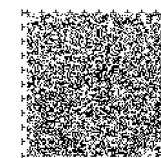
バリアをなくしていくための工夫や心くばりの方法は、一つではありません。その人によって、またお店の様子などによって、いろいろな方法があります。よく話し合って相手を理解することで、どちらにとってもよい方法を見つけることができます。



みんなでバリアをなくしていこう 合理的配慮の例

例 1

スーパーで、車いすの人が買い物をしようとして・・・



例 2

レストランに、盲導犬を連れた人が食事に来て・・・



例 3

イベント会場で、順番待ちの列ができています・・・



ここで紹介しているのは合理的配慮の一例です。バリアをなくしながら、おたがいにとってよい方法を見つけていきましょう。

ていくための工夫や方法はいろいろあるので、建設的対話をしな